

10. キーワード

- | | | | |
|--------------|----------|----------|------------|
| (1) ゼロショット学習 | (2) 近傍検索 | (3) 機械学習 | (4) ドメイン対応 |
| (5) 回帰 | (6) | (7) | (8) |

11. 現在までの進捗状況

(区分)(2) おおむね順調に進展している。

(理由)

理論的に大きな前進が得られたため、今後の応用研究への足がかりになると考える。

12. 今後の研究の推進方策

(今後の推進方策)

2015年度に得られた結果は、厳密には線形回帰(リッジ回帰・最小二乗回帰)に限られた分析にもとづいており、非線形回帰や正準相関分析に関する理論的な考察は課題として残っている。

13. 研究発表(平成27年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(0)件/うち査読付論文 計(0)件/うち国際共著論文 計(0)件/うちオープンアクセス 計(0)件

著者名		論文標題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)						
オープンアクセス						

(学会発表) 計(4)件/うち招待講演 計(0)件/うち国際学会 計(2)件

発表者名		発表標題	
Yutaro Shigeto, Ikumi Suzuki, Kazuo Hara, Masashi Shimbo, Yuji Matsumoto		Ridge regression, hubness, and zero-shot learning	
学会等名	発表年月日	発表場所	
2015 European Conference on Machine Learning and Principles and Practice of Knowledge Discovery in Databases (ECMLPKDD 2015) (国際学会)	2015年09月07日 ~ 2015年09月11日	Porto, Portugal	

発表者名		発表標題	
Akifumi Yoshimoto, Kazuo Hara, Masashi Shimbo, Yuji Matsumoto		Coordination-aware dependency parsing (preliminary report)	
学会等名	発表年月日	発表場所	
14th International Conference on Parsing Technologies (IWPT 2015)(国際学会)	2015年07月22日 ~ 2015年07月24日	Bilbao, the Basque Country/Spain	

発表者名	発表標題	
重藤優太郎, 鈴木郁美, 原一夫, 新保仁, 松本裕治	Zero-shot learning における線形回帰の影響	
学会等名	発表年月日	発表場所
情報処理学会 第222回自然言語処理研究会	2015年07月15日 ~ 2015年07月16日	首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス (東京都千代田区)

発表者名	発表標題	
椿真史, Duh Kevin, 新保仁, 松本裕治	ニューラルネットワークによる意味構成とそのカーネル埋め込みを用いた多層非線形類似度学習	
学会等名	発表年月日	発表場所
情報処理学会 第222回自然言語処理研究会	2015年07月15日 ~ 2015年07月16日	首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス (東京都千代田区)

〔図書〕 計(0)件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

(国際研究集会) 計(0)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究: -

17. 備考

--